

子宮頸がんの予防に有効な

HPVワクチンの公費負担による

無料接種を行っています。

積極的接種勧奨を差し控えていた期間に定期接種の対象であった

平成9年度生まれ〜平成17年度生まれの女子も公費での無料接種の対象になります。

※ただし、令和4年4月から令和7年3月までの3年間の措置となります。

『正しく予防』 子宮頸がん

接種推奨年齢：12歳～16歳

小学校6年生～高校1年生に相当する女子

子宮頸がんは20～30代の女性がかかるがんの第1位になっており、年々罹患率や死亡率が増加しています。全国の子宮頸がんによる罹患数は年間約11,000人、死亡数は年間約3,000人とされています。

若年化が進む子宮頸がんは、HPVワクチンで予防できる病気です。世界ではHPVワクチンの接種は広く行われ、その有効性や安全性が証明されています。

厚生労働省は、HPVワクチンの積極的接種勧奨を
令和4年4月から再開しました

接種を希望される場合は、医師に相談の上、ワクチンの有効性と安全性について説明を受け、十分に理解した上で受けるようにしてください。

**子宮頸がんと
HPVワクチンのことをよく知り、
正しい選択を考えましょう。**

WEBでワクチンの
情報公開中

詳しいパンフレットも
ご覧いただけます。

厚生労働省サイトQRコード▶



定期接種で使用されるHPVワクチンは、全部で3回、腕の筋肉に注射します。2回目は1回目の1～2ヶ月後、3回目は6ヶ月後に行います。HPVワクチンは、他のワクチン同様に副反応が出ることがあります。重篤な副反応が出た人へ、必要な診療を提供する特定の医療機関があります。

実施医療機関で申請受付中

お問合せ先

医療機関や市町村の健康福祉の窓口

兵庫県産科婦人科学会

協力機関：兵庫県医師会／兵庫県小児科医会